

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

魅せる現場 第二回見学会

草露白（くさつゆしろし、七十二候）草や花の上に降りてきた朝露が、白く光って見える季節となり、この時期は朝晩と昼の寒暖差が大きく、夜の空気が冷やされることで朝に露ができる頃とされています。平城宮跡の現場も少しずつ秋の気候になってきました。

今回のレターは、魅せる現場の実施報告です。東京から大学生20名が来場。鋭い質問で私達、現場サイドもドキドキ。今回の復原では何を目標としているのか等、いただきました質問について今後のレターの内容に盛り込んでいきたいと思えます。

今、知りたい～現場進捗～

がわばしら

9月上旬、外側の柱（側柱）の建方が完了しました。次の作業としては内部の柱（束柱）の建方をするために内部足場を組み建てていきます。



がわばしら
側柱

さぁ行こう！～魅せる！現場～

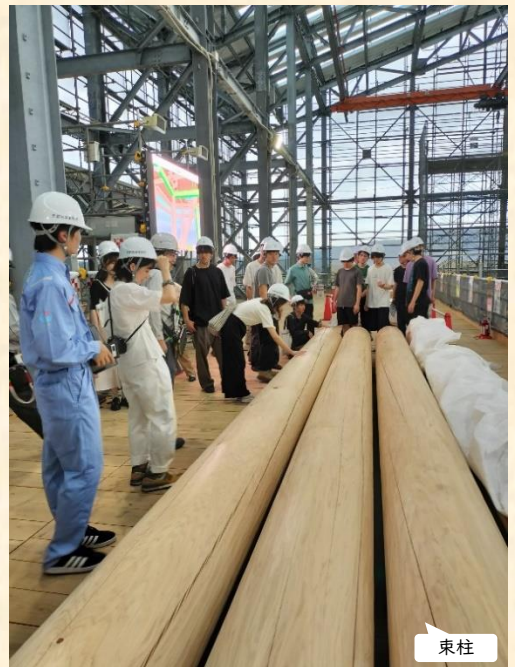
日時：令和5年9月12日（火）

参加：大学生20名

第2回目の魅せる！現場には、未来の建設業界を担う東京の大学に通う大学生20名が参加しました。

参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「保存とは何かと考えさせられた」
- ・「BIMモデル（3D）を用いた説明が分かりやすかった」
- ・「奈良時代の当時の技法、手法が尊重されている点が興味深い」



束柱

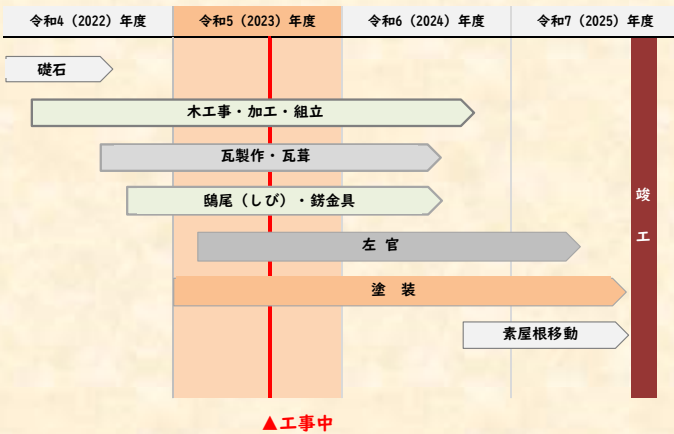


瓦



ひじき
肘木

宮大工による木材加工工程の見学や実際に使う瓦を手を持って感触を確かめてもらいました。その他BIMを使用した説明により、理解を深めてもらいました。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

〒606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所

